校番号	１００１

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本と世界の文化	単位数	２単位	年次	２・３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・自分の文化的属性を考える。
・日本の文化の源流を学ぶとともに、和食など世界へ広まった多様な日本の文化を知る。
・世界各地の文化から年度ごとにテーマを設定し、調べ学習や模擬授業の取り組みを通じて「世界」についての理解を深めると同時に、調べたことを発信するプレゼンテーションスキルを身につける。
・世界のさまざまな文化を学ぶことで、国際社会と呼ばれる現代世界を多角的に理解できる力を育む。
・さまざまな文化的背景を持つ人々とともに生きていく力を身につける。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
日本及び世界の地域的特色と文化およびその背景を理解し、必要な情報を調べて効果的にまとめる力を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
各国や地域の文化を横断的・縦断的に関連させ、多面的・多角的に考察をして表現する。
【学びに向かう力、人間性等】
自身の文化的属性を俯瞰することで、自国だけでなく他国の文化を理解・尊重できるようになる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代世界の地域的特色と日本及び世界の文化とその背景に関する理解をするとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身につけられるようにする。	文化が育まれた歴史的・地理的条件や、文化の相互の関連を、多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	文化に関わる諸事象について、よりより社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して日本及び他国を尊重する精神を育む。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	日本の文化	・日本の歴史や文化について学ぶ。教材は各時代ごとの文化史についてのプリントで学ばせる。	a:テストを行うのでその点数で判断する。	定期考査	定期考査	振り返りシート
	日本の文化調べ学習	・日本の食文化と日本の伝統的な寺院などについて研究させる。 それぞれについて提出と発表させる。	b: 自分の選んだテーマについてしっかり研究考察ができているかを見る。 c: 研究考察についてしっかりと自分の口で発表できるかを評価する。		提出物 発表	提出物 発表
後期	世界の文化	・世界の歴史や文化について学ぶ。教材は各時代ごとの文化史についてのプリントで学ばせる。	a:テストを行うのでその点数で判断する。	定期考査	定期考査	振り返りシート
	世界の文化調べ学習	・世界の食文化と世界の伝統的な寺院などについて研究させる。 それぞれについて提出と発表させる。	b: 自分の選んだテーマについてしっかり研究考察ができているかを見る。 c: 研究考察についてしっかりと自分の口で発表できるかを評価する。		提出物 発表	提出物 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度